

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ
0324	公衆便所維持管理事業	環境部	清掃施設課	2
0913	南クリーンセンター運営管理事業	環境部	清掃施設課	3
0913	西クリーンセンター運営管理事業	環境部	清掃施設課	4
0913	横谷埋立センター運営管理事業	環境部	清掃施設課	5
0913	大西谷埋立センター運営管理業務	環境部	清掃施設課	6
0913	中島リサイクルセンター運営管理事業	環境部	清掃施設課	7
0913	新南クリーンセンター整備事業	環境部	清掃施設課	8

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当G	施設維持管理担当	連絡先	948-6902
------	-----	-----	-------	-----	----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	公衆便所維持管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
0324					
政策【分野】	健康をつなぐ【健康・医療】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	健康でいきいき暮らしている		—	—	
施策	医療・保健・衛生体制の整備	根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
主な取組	生活衛生の向上				
目的・背景	【目的】 当課が管理する市内9箇所に設置された公衆便所を衛生的に維持管理し、公衆衛生の保全及び市民の利便性の向上を図る。				
対象・内容	【対象】 ・市内9箇所の公衆便所 【内容】 ・清掃業者等に委託料を支出し、日常清掃・維持管理業務及び浄化槽保守点検業務を実施する。また、破損や故障時には緊急修繕工事を実施する。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	衛生費	項	清掃費	目	し尿処理費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	清掃業務委託料		3,919
予算 (千円)	事業費計	14,682	14,539	7,486			三津港公衆便所解体工 事	1,275	
	国費・県費								
	市債								
	その他		9	9					
	一般財源	14,682	14,530	7,477		三津港公衆便所跡整備 工事	386		
決算 (千円)	事業費計	12,490	7,670				主な取組 内容 【R7】	・日常清掃・維持管理業務及び浄化槽保守 点検業務の実施 ・破損・故障時の緊急修繕工事の実施	
	国費・県費								
	市債								
	その他	20	19						
	一般財源	12,470	7,651						
	(執行率)	85%	53%						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	1.0	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	清掃日数		目標	366	257	156	156	業務委託により適正に実施することができ、目標を達成できた。なお、令和7年8月の市駅前公衆便所廃止により令和7年度の目標値は令和6年度より減少している。 (365→257)	
			実績	366	257				
	現状維持	日	達成率	100%	100%				
成果指標	公衆便所の使用不可日数0日		目標	0	0	0	0	破損や故障には迅速に対応し、適切に維持管理することで、目標を達成できた。	
			実績	3	0				
	現状維持	日	達成率	99%	100%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	公衆便所を適切に維持管理することができ、公衆衛生の保全及び市民の利便性を向上することができた。							
課題	機器ごとの経年劣化の状態を把握し、点検や取替による適切な保守管理を行う。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	本事業の実施により、公衆衛生の保全及び市民の利便性の向上が図られるため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当G	南クリーンセンター維持管理担当	連絡先	971-8862
------	-----	-----	-------	-----	-----------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	南クリーンセンター運営管理事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託
0913					
政策【分野】	豊かな自然と暮らしをつなぐ【環境】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	自然を大事にして、環境にやさしい暮らしをしている		－	－	
施策	脱炭素・循環型まちづくりの推進	根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例 松山市一般廃棄物処理基本計画		
主な取組	ごみの適正処理の推進				
目的・背景	【目的】松山市一般廃棄物処理基本計画に基づき、市民等から排出されたごみを適正に処理する施設である南クリーンセンターの運営管理及び維持管理を行う。				
対象・内容	【対象】 ・南クリーンセンターの各施設 【内容】 ・施設の運転管理業務は「荏原環境プラント株式会社西日本支店」に委託。 ・家庭等から排出される一般廃棄物のうち、本市の定める分別区分で「可燃ごみ」「粗大ごみ」に分類されるものを焼却・破碎し処理する。 ・ごみを焼却する際の余熱を利用して発電し、施設内で使用するとともに、余剰電力を他の市有施設に送電する。 ・ごみを焼却する際の余熱を利用した蒸気の一部を、隣接する「アクアパレット」のプールの水温管理等に利用する。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	衛生費	項	清掃費	目	塵芥処理費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	運転管理及びごみ受入 業務委託		549,120
予算 (千円)	事業費計	1,375,245	1,469,835	1,544,703			ボイラー等プラント定期 点検整備業務委託		174,900
	国費・県費						焼却設備補修工事		173,250
	市債								
	その他	652,413	706,920	732,517					
	一般財源	722,832	762,915	812,186					
決算 (千円)	事業費計	1,287,256	1,336,755			主な 取組 内容 【R7】	・日常清掃、維持管理業務及び浄化槽保守 点検業務の実施 ・破損、故障時の緊急修繕工事の実施		
	国費・県費								
	市債								
	その他	408,793	424,713						
	一般財源	878,463	912,042						
	(執行率)	94%	91%						
人役	正規職員	2.0	3.0	2.0		特記 事項			
	その他	5.0	4.0	5.0					
	合計	7.0	7.0	7.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	ごみ焼却量		目標	28,614	28,065	—	—	保守点検等施設の維持管理を適切に行ったことで安定的に焼却処理ができ、一般廃棄物処理基本計画に沿った焼却を概ね達成できた。R8から指標を「稼働停止日数」に変更する。	
			実績	29,218	28,060				
	単年で減	トン	達成率	98%	100%				
成果指標	環境法令等 基準値超過回数		目標	0	0	0	0	適切に施設を運転することで、公害を防止し、周辺環境を保全することができた。	
			実績	0	0				
	現状維持	回	達成率	100%	100%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	搬入されたごみを適正に処理することができた。 適正な施設の運営、維持ができた。							
課題	・建物や設備機器等の経年劣化への対応 ・土曜日、祝日及び年末年始のごみ搬入車両の渋滞対策					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	本事業の実施により、一般廃棄物の適正な処理及び適正な施設の運営、維持ができているため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当G	西クリーンセンター維持管理担当	連絡先	953-1153
------	-----	-----	-------	-----	-----------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	西クリーンセンター運営管理事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託	
0913		各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約		
政策【分野】	豊かな自然と暮らしをつなぐ【環境】		—	—		
政策別未来像	自然を大事にして、環境にやさしい暮らしをしている					
施策	脱炭素・循環型まちづくりの推進		根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例 松山市一般廃棄物処理基本計画		
主な取組	ごみの適正処理の推進					
目的・背景	【目的】松山市一般廃棄物処理基本計画に基づき、市民等から排出されたごみを適正に処理する施設である西クリーンセンターの運営管理及び維持管理を行う。 【背景】平成25年度から供用を開始している。					
対象・内容	【対象】 ・西クリーンセンターの各施設 【内容】 ・施設の運転管理及び維持管理は、「松山環境テクノロジー株式会社」に委託(DBO方式)し、令和14年度までの20年間の継続契約となっている。 ・家庭等から排出される一般廃棄物のうち、本市の定める分別区分で「可燃ごみ」「粗大ごみ(可燃性)」に分類されるものを焼却・破砕し処理する。					

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	衛生費	項	清掃費	目	塵芥処理費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	施設運営業務の委託料		945,448
予算 (千円)	事業費計	932,851	963,301	988,172					
	国費・県費								
	市債								
	その他	556,171	561,250	584,175					
	一般財源	376,680	402,051	403,997					
決算 (千円)	事業費計	918,506	946,604			主な 取組 内容 【R7】	・一般廃棄物の適正処理 ・適正な施設の運営、維持		
	国費・県費								
	市債								
	その他	950,330	998,965						
	一般財源	-31,824	-52,361						
	(執行率)	98%	98%						
人役	正規職員	1.0	2.0	2.0		特記 事項			
	その他	4.0	3.0	3.0					
	合計	5.0	5.0	5.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	ごみ焼却量		目標	81,103	79,547	—	—	保守点検等施設の維持管理を適切に行ったことで安定的に焼却処理ができ、一般廃棄物処理基本計画に沿った焼却を概ね達成できた。R8から指標を「稼働停止日数」に変更する。	
			実績	82,404	81,500				
	単年で減	トン	達成率	98%	98%				
成果指標	環境法令等 基準値超過回数		目標	0	0	0	0	適切に施設を運転することで、公害を防止し、周辺環境を保全することができた。	
			実績	0	0				
	現状維持	回	達成率	100%	100%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	搬入されたごみを適正に処理することができた。 適正な施設の運営、維持ができた。							
課題	令和14年度までの施設運営業務委託の期間のうち、13年が経過した。経年劣化の対応など、施設運営が適切に実施されているかどうか、モニタリング業務を適正に行うとともに、20年経過後の施設運営のあり方についても精査する。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	本事業の実施により、一般廃棄物の適正な処理及び適正な施設の運営、維持ができているため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当G	横谷埋立センター・横谷廃棄物センター維持管理担当	連絡先	977-5235
------	-----	-----	-------	-----	--------------------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	横谷埋立センター運営管理事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託
0913					
政策【分野】	豊かな自然と暮らしをつなぐ【環境】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	自然を大事にして、環境にやさしい暮らしをしている		—	—	
施策	脱炭素・循環型まちづくりの推進	根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
主な取組	ごみの適正処理の推進		松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例 松山市一般廃棄物処理基本計画		
目的・背景	【目的】 松山市一般廃棄物処理基本計画に基づき、市民等から排出されたごみを適正に処理する施設である横谷埋立センター等の運営管理及び維持管理を行う。 【背景】 横谷埋立センターの供用開始による。				
対象・内容	【対象】 ・横谷埋立センター及び横谷廃棄物センターの各施設 【内容】 ・施設の運転管理業務は「水ingAM株式会社四国営業所」に委託。 ・家庭から排出される一般廃棄物のうち、本市の定める分別区分で「埋立ごみ」に分類されるものと、クリーンセンターから発生した焼却灰の最終処分。 ・埋立地から発生した浸出水の浄化処理。 ・浸出水に含まれる塩類を消毒剤(エコ次亜)としてリサイクル。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	衛生費	項	清掃費	目	塵芥処理費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	水処理施設諸設備点検整備業務委託料		168,300
予算 (千円)	事業費計	616,389	658,724	615,451			運転管理及びごみ受入業務委託料	135,300	
	国費・県費						横谷廃棄物センター浸出液処理施設更新工事	36,318	
	市債								
	その他	685	1,085	1,985					
	一般財源	615,704	657,639	613,466					
決算 (千円)	事業費計	592,689	558,413			主な取組 内容 【R7】	・一般廃棄物の適正処理 ・適正な施設の運営、維持		
	国費・県費								
	市債								
	その他	13,018	18,677						
	一般財源	579,671	539,736						
	(執行率)	96%	85%						
人役	正規職員	2.0	3.0	2.0		特記 事項			
	その他	2.0	1.0	5.0					
	合計	4.0	4.0	7.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	エコ次亜生成量		目標	5,000	5,000	5,000	5,000	エコ次亜生成量は降雨量に左右されるが、7年度は平年以上の降水量があり、目標以上の次亜が生成できた。	
			実績	5,419	5,124				
	現状維持	m3	達成率	100%	100%				
活動指標	環境法令等基準値超過回数		目標	0	0	0	0	適切に施設を運転することで、公害を防止し、周辺環境を保全することができた。	
			実績	0	0				
	現状維持	回	達成率	100%	100%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	搬入されたごみを適正に処理することができた。 適正な施設の運営、維持ができた。							
課題	エコ次亜の生成量は降雨量に左右される。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	本事業の実施により、一般廃棄物の適正な処理及び適正な施設の運営、維持ができていたため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当G	大西谷埋立センター維持管理担当	連絡先	977-0929
------	-----	-----	-------	-----	-----------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	大西谷埋立センター運営管理業務	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託
0913					
政策【分野】	豊かな自然と暮らしをつなぐ【環境】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	自然を大事にして、環境にやさしい暮らしをしている		—	—	
施策	脱炭素・循環型まちづくりの推進	根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例 松山市一般廃棄物処理基本計画		
主な取組	ごみの適正処理の推進				
目的・背景	【目的】 松山市一般廃棄物処理基本計画に基づき、市民等から排出されたごみを適正に処理する施設である大西谷埋立センター等の運営管理及び維持管理を行う。 【背景】 平成17年の合併により北条市から移管したことによる。				
対象・内容	【対象】 ・大西谷埋立センターの各施設 【内容】 ・施設の運転管理業務は「株式会社日本管財環境サービス」に委託。 ・家庭から排出される一般廃棄物のうち、本市の定める分別区分で「埋立ごみ」に分類されるものと、クリーンセンターから発生した焼却灰の最終処分。 ・埋立地から発生した浸出水の浄化処理。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	衛生費	項	清掃費	目	塵芥処理費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	水処理施設運転管理及び 埋立等業務委託料		27,060
予算 (千円)	事業費計	44,680	49,198	140,365			電気料金		2,503
	国費・県費								
	市債								
	その他	50	100	89,519					
	一般財源	44,630	49,098	50,846		水処理活性炭購入費		1,661	
決算 (千円)	事業費計	39,276	46,733			主な 取組 内容 【R7】	・一般廃棄物の適正処理 ・適正な施設の運営・維持管理		
	国費・県費								
	市債								
	その他	685	501						
	一般財源	38,591	46,232						
	(執行率)	88%	95%						
人役	正規職員	2.8	2.8	1.8		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	1.0					
	合計	2.8	2.8	2.8					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	水処理施設の定期点検回数		目標	12	12	12	12	施設の適正な維持管理を行うための定期点検を確実に行う事ができた。	
			実績	12	12				
	現状維持	回	達成率	100%	100%				
成果指標	環境法令等基準値超過回数		目標	0	0	0	0	適切に施設を運転することで、公害を防止し、周辺環境を保全することができた。	
			実績	0	0				
	現状維持	回	達成率	100%	100%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	搬入されたごみを適正に処理することができた。 適正な施設の運営、維持ができた。							
課題	想定を超える豪雨時は水処理能力が限界に達する場合がある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	本事業の実施により、一般廃棄物の適正な処理及び適正な施設の運営、維持ができていたため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当G	中島リサイクルセンター維持管理担当	連絡先	997-5911
------	-----	-----	-------	-----	-------------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	中島リサイクルセンター運営管理事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
0913					
政策【分野】	豊かな自然と暮らしをつなぐ【環境】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	自然を大事にして、環境にやさしい暮らしをしている		○	－	
施策	脱炭素・循環型まちづくりの推進	根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例 松山市一般廃棄物処理基本計画		
主な取組	ごみの適正処理の推進				
目的・背景	【目的】 松山市一般廃棄物処理実施計画に基づき、市民等から排出されたごみの資源化等を行う施設である中島リサイクルセンターの運営管理及び維持管理を行う。 【背景】 平成17年の合併により、中島町から移管したことによる。				
対象・内容	【対象】 中島リサイクルセンターの各施設 【内容】 ①「缶・びん類」「プラ・ペット類」「金物・ガラス類」は、選別・圧縮・梱包などの作業を行ったうえで搬出する。 ②「粗大ごみ」「埋立ごみ」「水銀ごみ」「紙類」は、選別・分別などの作業を行ったうえで搬出する。 ③「可燃ごみ」などは、一時保管し搬出する。				

2.事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	衛生費	項	清掃費	目	塵芥処理費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	プラスチックバール運搬 業務委託料		2,653
予算 (千円)	事業費計	17,658	18,770	20,858			紙類の売却に伴う運搬業 務委託料		2,526
	国費・県費						粗大ごみ運搬業務委託 料		1,463
	市債								
	その他	4,030	3,654	3,433					
	一般財源	13,628	15,116	17,425					
決算 (千円)	事業費計	15,910	16,349			主な 取組 内容 【R7】	・中島地区から発生した一般廃棄物の再資 源化 ・適正な施設の運営、維持管理		
	国費・県費								
	市債								
	その他	4,839	3,388						
	一般財源	11,071	12,961						
	(執行率)	90%	87%						
人役	正規職員	2.2	2.2	2.2		特記 事項			
	その他	8.0	8.0	8.0					
	合計	10.2	10.2	10.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和17年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	中島リサイクルセンターでの資源化量		目標	1,617	1,801	2,015	3,580	施設を適正に運営・維持管理することで、概ね目標とする資源化量を達成することができた。なお、一般廃棄物処理基本計画の見直しがあったため、令和7年度の目標値が減少した。(1857→1801)	
			実績	1,577	1,797				
	累計で増	トン	達成率	97%	99%				
成果指標	中島の資源化率		目標	21.5	18.3	18.9	25.6	施設を適正に運営・維持管理することで、目標とする資源化率を達成することができた。なお、一般廃棄物処理基本計画の見直しがあったため、令和7年度の目標値が減少した。(22.2→18.3)	
			実績	27.9	26.4				
	単年で増	%	達成率	130%	144%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	施設を適正に運営・維持管理することで、中島地区の一般廃棄物の資源化を目標値まで達成できた。							
課題	施設及び諸設備(作業車両含む)の経年劣化への対応。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	本事業の実施により、適正な施設の運営・維持管理ができており、中島地区の一般廃棄物が、再資源化等により適正に処理できているため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当G	クリーンセンター整備担当	連絡先	948-6901
------	-----	-----	-------	-----	--------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	新南クリーンセンター整備事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
0913					
政策【分野】	豊かな自然と暮らしをつなぐ【環境】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	自然を大事にして、環境にやさしい暮らしをしている		—	—	
施策	脱炭素・循環型まちづくりの推進	根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条の2 松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例 松山市新南クリーンセンター施設整備基本計画		
主な取組	ごみの適正処理の推進				
目的・背景	【目的】供用開始から30年が経過した南クリーンセンターの建替え業務を進め、将来の安定的なごみ処理体制を整える。 【背景】令和5年3月の松山ブロック(松山市、伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町)による基本合意にて、本市の南クリーンセンター及び西クリーンセンターを松山ブロックの広域処理施設として運用することが決まったため。				
対象・内容	【内容】 現在の南クリーンセンター敷地内での建替えに向けた各種調査や設計業務等を行い、令和15年度中の供用開始を目指している。 《今後のスケジュール(予定)》 ・令和8年度 施設整備基本設計及び事業者選定業務(令和7年度～令和9年度)、環境影響評価業務(令和6年度～令和8年度) ・令和9年度 造成工事(～令和10年度) ・令和10年度 実施設計及び建設工事 ・令和15年度 供用開始				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	衛生費	項	清掃費	目	ごみ処理施設建設費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	環境影響評価業務委託料	59,070	
予算 (千円)	事業費計	66,152	159,178	101,184			施設整備基本設計及び事業者選定支援業務委託料	21,495	
	国費・県費	21,100	52,360	16,247			土壌汚染詳細調査(第1期)業務委託料	8,281	
	市債	37,700	92,600	29,200					
	その他	0							
	一般財源	7,352	14,218	55,737					
決算 (千円)	事業費計	51,171	100,222			主な取組 内容 【R7】	建替えに向けた各種調査や計画作成 ・施設整備基本設計業務 ・環境影響評価業務 ・土壌汚染詳細調査業務		
	国費・県費	16,149	32,446						
	市債	27,800	56,800						
	その他								
	一般財源	7,222	10,976						
	(執行率)	77%	63%						
人役	正規職員	4.1	4.1	4.1		特記事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	4.1	4.1	4.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	施設整備基本計画の策定進捗率		目標	100	100	-	-	令和7年6月に施設整備基本計画を策定し、目標を達成した。	
			実績	95	100				
	単年で増	%	達成率	95%	100%				
活動指標	環境影響評価進捗率		目標	30	80	100	-	令和6年に各種手続きを経て、大気質や騒音、振動等の現地調査を実施し、予定通り進捗し、目標を達成した。	
			実績	30	80				
	単年で増	%	達成率	100%	100%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	環境省による大幅な要綱改正があり、施設整備基本計画の策定が順延したが、事業スケジュール全体に影響は与えないため。							
課題	建設用地が狭陰かつ2本の一級河川に挟まれていることや、物価高騰に伴う建設費の上昇が懸念される。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	松山ブロックでの基本合意に基づき、南クリーンセンターの建替えを進める必要があるため。